

城下町探訪 26

2009/9/24

本町問屋倉科家跡

本町五丁目の高札場を過ぎると旅人は道の西側に下図のような本町問屋倉科家の店舗を驚きの目をもって眺めながら通りすぎたに違いない。(元禄9年本町町並絵図面)



27間(約49m)間口の店舗であった。この倉科七郎左衛門くらしなしちろうざえもんとはいかなる人物か調べてみることにします。場所は天神小路前から現在も見られる極楽寺大門前辺りまでになります。

倉科家のあった辺り



(1) 倉科家の役割

倉科家は小笠原貞慶さだよしに天正10年10月27日に召しがされて松本町の問屋・本陣・大名主おおなぬしを命ぜられました。倉科七郎左衛門の先祖は武田氏につかえていた武士でした。天正元年(1573)仁科五郎盛信が大町の領主に任ぜられると甲州からその付け人として大町に移り住みました。武田家滅亡の後は大町に土着した有力者でした。したがって倉科家はもともと町人ではなく前述のように小笠原貞慶の家臣として安曇郡内に知行地を与えられていた武士が城下への居住政策により松本城下に移り住んだとき町人に転身した家でした。

倉科家は歴代の松本城主から問屋と本陣をまかされていました。問屋は公用人馬の差配を行ったり、諸商人の荷物に不正取り引きがないか取り締まったりしています。戸田康長時代からは倉科七郎左衛門家が町問屋職を世襲するようになっていきます。

松本問屋は公用荷物輸送を取り仕切る公的機関として本町五丁目に設けられました。水野氏時代、藩は合力^{ごうりききのみ}50俵を支給し、間口27間にかかる軒^{のきやく}役を免除していました。荷物の積み立ての特権をもつ倉科家は一般荷物の輸送荷にも関わり業者から手数料（口銭）を徴収するなど交通運輸関係に絶大な力をもっていました。

倉科家が兼帯していた本陣は公認の宿泊施設で諸大名、公卿、門跡、幕府巡検使等の宿泊に使用される所でしたが、松本城下の場合公認の宿泊施設としては今井六右衛門の御使者宿^{おししやど}がありそちらに比重が移っていきました。

町方の支配は近世のはじめ頃は本来武士であった松林家や草間家が松本町に定住して町政を担当する肝煎^{きもいり}を勤めました。やがて、倉科家は松本町の宿場機能を統括する問屋職につくと共に、町方支配もつとめています。倉科氏は本町の大名主^{おおなぬし}で問屋職を兼帯し、大名主で御使者宿を兼務した今井家とともに町役人の頂点に立ち、藩政の町方支配の一端を担っていました。

（2）戸田氏入封のエピソード

水野氏が改易された後、松本へは享保11年3月21日、戸田氏が鳥羽から再び松本へ入封します。この時、活躍したのが倉科家を筆頭とする松本の商人でした。戸田氏は松本から明石、加納、淀、鳥羽と転封しそのたびに出費が多かったうえに、鳥羽は耕地が少なく生産力が低い土地で、家臣は1269人と多く財政的に窮乏していました。松本入封に際しても資金調達に難航し松本の町人達に金策を依頼するありさまでした。

大名主倉科七郎左衛門、今井六右衛門、大和伝右衛門の3人が3月初旬2000両の資金を携え鳥羽に赴きようやく戸田氏は松本に入封することが出来たのです。

（3）明治維新と倉科家



現在の倉科家の跡（天神通りと本町通りの交差点の西南隅の一角）に写真の様な飛脚のブロンズ像の「松本郵便局発祥の地」の記念碑が立っています。

慶応4年（1868）6月助郷^{すけごう}制度の改正が行われると問屋を廃止^{しやく}し、宿に「伝馬所^{てんましよ}取扱役」を置いて公の荷物輸送の差配をおこなわせました。この時、松本町は公選によって前問屋の倉科七郎左衛門と助郷村からは藤井村名主藤井治助が取締役に選ばれました。しかし、明治4年12月伝馬所を廃して、明治5年正月陸運会社が設置されることになり、ここにいたって公用人馬の通行制度は全廃され、公用の荷物官吏の通行は私人同様の賃金を支払うことになったのです。

明治5年3月、明治政府は郵便規則を發布しこれを全国で実施に移しました。明治5年7月1日「松本郵便取扱所」が本町五丁目191番地、取扱役倉科七郎左衛門宅に設置されました。この時は遠近によって料金の差がありました。明治6年4月13日には「松本郵便取扱所」と改称し、料金は全国均一となり、葉書が発行されました。明治8年1月は「松本三等郵便局」と改称し**為替取り扱い業務**を開始しました。明治8年6月、郵便局は本町二丁目神田久蔵宅へ移局しています。したがって、それまで倉科七郎左衛門宅が郵便局として使われていました。

問屋倉科家が江戸時代は飛脚によって運ばれていた信書を、より確実に送達するため、官営郵便取扱所が松本で初めて設置された場所なのです。

松本市は昭和62年4月全国に先がけて「郵トピア構想モデル都市」に指定されました。そこで、平成2年4月20日この地に「松本郵便局発祥の地」の記念碑が建てられました。

